

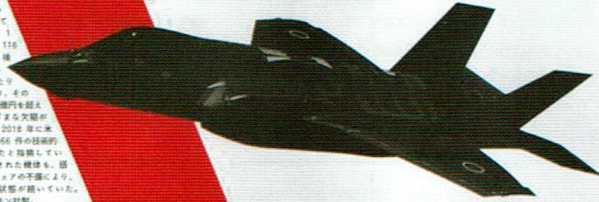
軍拡時代の反戦運動

第一次安倍政権下で防衛費は増大し続け、昨年12月には、新たな「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」が閣議決定され、アメリカから巨額な兵器の爆買いをしています。空母やF35ステルス戦闘機、長距離巡航ミサイルなど「専守防衛」を明らかに逸脱する大軍拡に突入した「今」の時代の反戦・平和運動について杉原さんにお話をさせていただきます。

F35戦闘機147機で 6.2兆円の無駄遣い!

政府が計147機の購入を機密しているF35戦闘機、1機あたり約42億円の費用だが、導入後30年間にわたる維持費は1機あたり1000億円にのぼる。その総額は計2000億円を超える。すでにさまざまな欠陥がみつかっており、2015年に米海軍が米空軍のF35の運用性試験を見つかったと発表している。日本に納入された機体も、部品の欠陥やソフトウェアの不備により、故障に繋がっている状態が続いている。ソニー・エリクソン社製。

イージス・アショア2基、 6000億円



「116億円」
F35戦闘機1機分のお金で、認可保育所を90か所作られて、8100人の子どもが保育を受けられます。6機分のお金で、日本中の待機児童が保育園に入れます。

政府は70歳以上の医療費患者負担1千億円を削減。イージス・アショアを買わなければ、お年寄りが安楽病院に行き、おつりが返って

講師：杉原浩司さん

武器より暮らしを

(武器取引反対ネットワーク [NAJAT] 代表)

日時：6月9日(日)

午後1時開場 1時半開始

場所：東別院会館 椿の間

(地下鉄名城線「東別院駅」4番出口より、西に徒歩5分)

参加費：800円

呼びかけ：不戦へのネットワーク

連絡先：名古屋市中村区那古野1の44の17
嶋田ビル2F 電話：050-3593-5130

Eメール：husen@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/~husen/>

www.facebook.com/antiwarnetwork



武器取引反対ネットワーク
[NAJAT] 代表

2015年12月、武器輸出に反対する市民・NGO・学者・アーティストなどで武器輸出反対ネットワーク(Network Against Japan Arms Trade [NAJAT])を結成。以降、精力的に武器輸出反対の運動を続ける。共著/「武器輸出大国ニッポンでいいのか」(望月衣聖子、池内了、古賀茂明、杉原浩司/あけび書房2016年9月)「亡国の武器輸出:防衛装備移転三原則は何をもたらすか」池内了、青井未帆、杉原浩司/合同出版2017年9月)

<https://najat2016.wordpress.com/>